

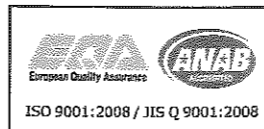
# 林業ぐんま



ぐんま山の日記念 第4回美しいぐんまの山と森フォトコンテスト 審査員特別賞「林業作業」  
撮影場所 高崎市榛名町

## 勝 勝野建設株式会社

代表取締役社長 勝野政和



本社/〒370-3608

群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田592番地

電話 0279(54)3551(代) FAX 0279(54)3494

### 総合建設業

## 株式会社 オーケンコーポレーション

代表取締役 石坂英雄

1tの炭でエアクリニング

本社/群馬県沼田市横塚町1088番地の1

TEL 0278-24-8186

高崎営業所/群馬県高崎市北原町864番地

TEL 027-373-9151

## 炭の家



緑の募金で  
緑豊かなふるさとぐんま

公益社団法人 群馬県緑化推進委員会

前橋市大手町1-10-7 群馬県公社総合ビル内

☎ 027(280)6257

URL: <http://www.g-sinrin.jp/>

災害に強い森林づくりの推進・林道・作業道事業の拡充強化  
堤名板の受注・治山事業・林道事業・県有林事業の歩掛公表

## 群馬県治山林道協会

会長 星野 巳喜雄

〒371-0854 前橋市大渡町1-10-7 公社総合ビル6階

TEL 027-280-6255 FAX 027-255-6265

発行責任者 星野 巳喜雄  
印刷 杉浦印刷株式会社

### 目次

林政情報 1

平成二十六年年度

群馬県森林関係施策の概要

森林経営計画制度の見直しについて

普及コーナー 4

豪雪被害状況

第十七回群馬県きのこ品評会

緑化推進だより 5

各地のたより

(利根) 沼田市沼田中学校・木造新校舎 7

(富岡) 列状間伐講習会を開催

(林振課) 第十四回群馬県

(藤岡) 「ぐんま緑の県民税」きのこ料理コンクール

(吾妻) 森林経営計画推進にの事業説明会開催

(桐生) 東毛地区木材組合連絡協議会 地域座談会の開催

平成二十五年年度視察研修

森の談話室 11

「浅間の麓できのこ生産」

林業試験場から 長野原町応桑 小林秀幸さん 12

地域を担う人 13

外山 文耶さん 萩原 潤さん

小林 谷一さん 小菅 豊さん

大淵 高章さん 角田 和彦さん

相澤 俊治さん 小淵 絢也さん

森林・林業を支え、みどり豊かな

郷土群馬づくりに貢献する 15

春

2014

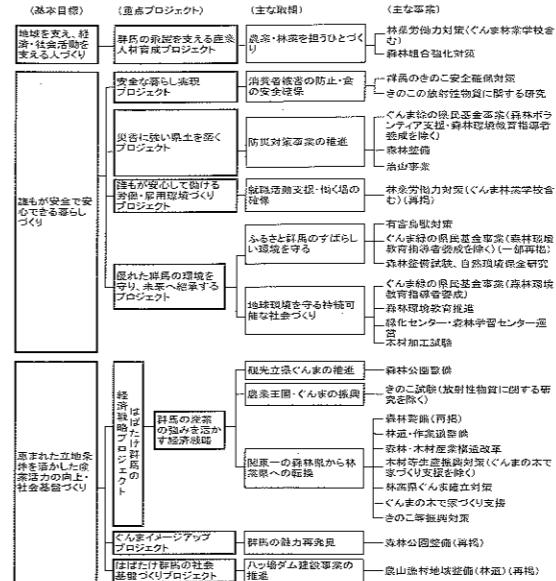
ひとりごと 2月15日、前橋での積雪は73cmで、気象台始まって以来の豪雪でした。人々の生活や経済活動に大きな支障が出ました。とりわけ、野菜やきのこのハウスの損壊が甚大でした。しいたけ生産者にとっては、原発被害に続き厳しい状況が続きます。国や県、市町村の支援を得て、なんと立ち上がりませんか。(K.A.)

# 林政情報

## 平成26年度 群馬県森林関係施策の概要

県民が健やかで安全に安心して暮らせる豊かな美しい郷土ぐんまの創造を目指して、林業の再生と森林環境の保全を推進する施策を、県民や事業者と協働して総合的に、かつ効果的に実施します。

県総合計画「はばたけ群馬プラン」に沿った施策体系は次のとおりです。



### ○出口対策

木材の加工・流通施設の整備を支援し、価格・品質・安定供給など、市場のニーズに応じた競争力のある県産材の生産・流通体制を構築します。また、県産木材の需要拡大を図るため、県産材の良さをPRしブランド化に努め、建築分野等における県産材の利用率を高めます。

### ○きのこ振興

「群馬のきのこ」を守るため、生産基盤を整備するとともに、消費者の安全安心を確保するための生産管理を推進します。

### 加工・流通体制の強化

木材の加工流通施設の整備	14,490千円
○間伐材流通促進	620,280千円
○木材加工(加速化基金)	241,995千円
○林業・木材産業交付金	9,433千円
○林業県ぐんま確立対策	

### 需要の拡大

県産木材の需要拡大	
○ぐんまの木で家づくり支援	324,000千円
○木造公共施設等整備(基金)	324,400千円
○公共施設等県産材活用推進	12,000千円 ほか

### 群馬のきのこを守る

きのこ産業等の振興	
○群馬のきのこ振興対策	176,700千円
○きのこ流通消費拡大	2,700千円
○群馬のきのこ安全確保対策	6,988千円 ほか

平成26年度環境森林部(森林部門)当初予算(一般会計)  
1 所屬別予算額 単位:千円

課名	H26当初 予算額	H25当初 予算額	増減	前年比
林政課	4,708,820	4,172,136	536,684	112.9%
林業試験場	185,037	183,911	1,126	100.6%
林業振興課	2,707,947	2,102,231	605,716	128.8%
森林保全課	5,856,981	5,760,213	96,768	101.7%
緑化推進課	295,413	275,171	20,242	107.4%
計	13,754,198	12,493,662	1,260,536	110.1%

2 公共事業(上記の内訳) 単位:千円

区分	H26当初 予算額	H25当初 予算額	増減	前年比
補助公共	5,928,119	5,673,738	254,381	104.5%
林道	1,148,173	1,355,504	△ 207,331	84.7%
作業道	132,000	70,000	62,000	188.6%
治山	3,867,068	3,811,914	55,154	101.4%
造林	630,878	362,020	268,858	174.3%
災害復旧	150,000	74,300	75,700	201.9%
単独公共	2,699,894	2,660,029	39,865	101.5%
林道	294,983	304,609	△ 9,626	96.8%
林業作業道	514,551	550,000	△ 35,449	93.6%
治山	1,758,000	1,700,000	58,000	103.4%
間伐	81,360	54,420	26,940	149.5%
水源宝くじ	51,000	51,000	0	100.0%

森林関係の県予算は、新規事業となるぐんま緑の県民基金事業や、森林整備加速化・林業再生基金の積み増しなどにより、総額13億5419万円、対前年比は110%、12億6053万円の増加となりました。

なお、公共事業費は、補助公共事業が対前年比104%、単独公共事業が対前年比101%といずれも増加しました。

### ○「林業県ぐんま」の確立に向けて

【森林整備の着実な推進】【出口対策】【きのこ振興】を柱として、森林・林業基本計画を着実に推進し、充実した森林資源と地理的優位性を活かした「林業県ぐんま」の確立をめざします。

### ※「ぐんま緑の県民基金」について

県では平成26年度から、「ぐんま緑の県民基金」を導入し、県民税均等割に個人は700円、法人は均等割額の7%相当額を上乗せして徴収します。

この徴収を財源として造成する「ぐんま緑の県民基金」は、県民共有の大切な財産である森林を、多くの皆さんの協力により守り、育て、次世代に引き継いでいくことを目的として、奥山等条件不利地の森林整備、里山・平地林・竹林の整備、ボランティア活動・森林環境教育の推進、重要な森林の公有林化などに活用されます。

### ○鳥獣被害対策の充実強化

野生鳥獣による林業被害のほとんどは、ツキノワグマとニホンジカによる剥皮被害と食害によるものです。これまでの様々な被害対策にも関わらずニホンジカの生息数、生息域は拡大し続けるなど、鳥獣被害を取り巻く状況は依然として深刻なものとなっています。

一層の被害軽減を図るため、これまで同様農業や自然環境などの関係者との連携をさらに強化するとともに、今年度からは特に「攻め」調査研究・人材育成、「守る」被害防止、「知る」調査研究・人材育成を組み合わせた総合的な被害対策を推進し、農林業者・地域が被害減少を実感できるよう各種対策事業に取り組みます。

### ○森林整備の着実な推進

森林経営計画による集約化施策を推進し、林業経営による持続的な森林整備体制の構築を図るとともに、林道・作業道の整備、高性能林業機械の導入、林業従事者の育成により森林整備の低コスト化を推進し、木材生産体制の強化を図ります。

また、今年度より新たに「ぐんま緑の県民基金(※後述)」を活用した奥山等条件不利地の森林整備を行うとともに、山地災害の復旧と予防対策を実施するなど公益的機能の高い森林づくりに取り組みます。

### 林業経営による森林整備

森林整備への支援	金額
○森林整備地域支援交付金	20,986千円
○森林境界明確化(基金)	13,598千円
○補助公共造林	630,878千円
○単独森林整備	54,387千円
○間伐促進強化対策	60,000千円 ほか
林道・作業道整備	1,148,173千円
○補助公共林道	294,983千円
○単独林道	132,000千円
○補助公共作業道	514,551千円 ほか
○林業作業道総合整備	
高性能林業機械	179,880千円
○高性能林業機械導入(基金)	179,880千円
○林業県ぐんま確立対策	10,567千円
人材育成	41,441千円
○森林整備担い手対策	5,500千円
○ぐんま林業学校	38,776千円
○人材育成(基金)	15,100千円 ほか
○緑の青年就業準備給付金	

### 公的団体による森林整備

荒廃した森林の整備	金額
○ぐんま緑の県民基金事業	576,092千円
○補助公共治山	3,867,068千円
○単独公共治山	1,758,000千円 ほか

野生鳥獣被害対策(林業関係予算) (単位:千円)

事業名	区分	H26 当初予算	H25 当初予算
【補る】			
○補償の強化			
ニホンジカの捕獲実証試験	継続	1,140	500
GPS首輪によるシカ行動把握	継続	3,906	7,300
【守る】			
○森林や樹木をまもる			
森林獣害防止対策	継続	3,895	4,525
補助公共造林事業(鳥獣害防止施設等整備)	継続	33,617	10,000
防護資材設置	継続	5,000	5,000
剥皮被害対策(加速化基金)	拡充	60,000	50,040
○特用林産物をまもる			
特用林産物生産力アップ事業	継続	1,200	1,200
○野生獣の出没抑制対策			
生息環境整備	継続	3,785	4,630
獣害対策ボランティア支援	継続	240	320
○被害木の処理を支援			
被害木運搬経費助成	継続	3,500	1,050
【知る】			
○調査・研究			
ツキノワグマによる森林剥皮被害の研究	継続	558	560
野生動物を育む里山などの豊凶調査	継続	228	239
合計		117,069	85,364

### 平成26年2月の大雪により被害を受けた方へ

きのこ栽培施設、林産関係施設、造林地等において、大雪による被害を受けた場合には、被害内容や程度に応じて、各種補助事業や資金貸付・助成制度等を利用できる場合があります。県では復旧支援のため、随時ご相談を受け付けておりますので、県庁各課またはお近くの環境森林事務所・森林事務所へご相談ください。

また、森林国営保険に加入されている森林の被害は、保険金申請の対象となりますので、取扱いの各森林組合までご相談ください。

### 森林経営計画制度の見直しについて

30ha型の「区域計画」の新設

森林経営計画は、平成二十三年の森林法の改正により、面的なまとまりのある森林を対象に施業集約化や効率的な路網整備を進め、持続的な森林経営を確保することを目的に創設され、これまで各地域において計画が策定



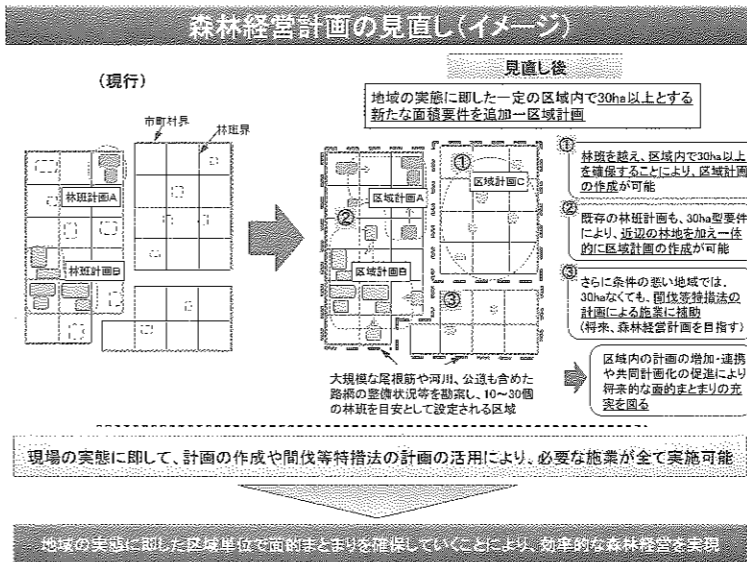
### 豪雪被害状況

二月十四日〜十五日にかけて日本列島を襲った歴史的な豪雪により、群馬県林業にも甚大な被害がありました。このたびの大雪により被災された皆様にご心からお見舞い申し上げます。

前橋市における十五日の積雪深は、観測史上最多の73cmを記録し、雪は湿って重かったこともあり、きのこ生産施設や製材工場建屋に深刻な被害がありました。製材工場等の建屋は59棟損壊し(三月四日現在)、造林地の雪折れ被害や、苗畑の苗木栽培施設損壊も発生しました。

このほか、特にきのこ栽培用ハウスの損壊による被害が大きく、被害棟数1,050棟、被害額5億1,610万円でした(二月二十八日現在)。きのこ生産者にとっては、福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染の影響もおさまらない中、追い打ちをかけるような災害でした。生産意欲の減退はもとより、生産を断念する方もいる可能性があることから、県として、国や市町村と連携し、これまでにならぬ緊急かつきめ細かな支援に取り組んでいきます。一例として、被災したきのこ栽培用ハウスについて、県農政部の国庫補助事業を活用し、復旧・再建費

されてきました。平成二十六年四月から、制度が一部見直され、これまでの「林班計画(林班の二分の一以上)」、「属人計画(所有山林が100ha以上)」に加え、対象森林を地域の実態に即した一定の区域内で30ha以上とする新たな面積要件の「区域計画」が創設されます。新たな「区域計画」の基本的な考え方は、次のとおりです。

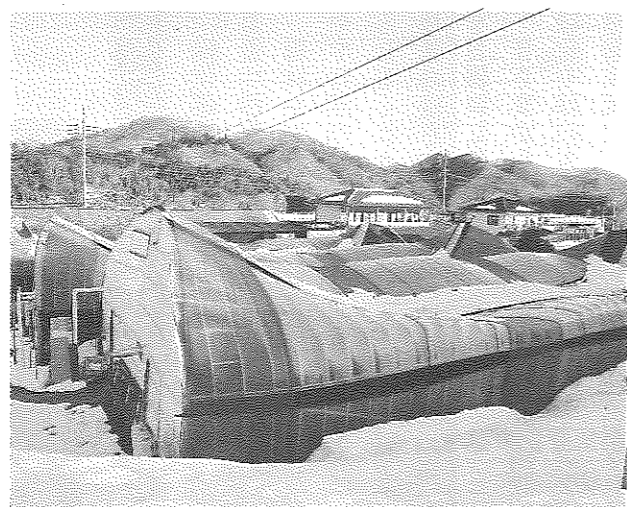


### 区域計画の基本的な考え方

- ・区域計画は、市町村森林整備計画において定められている区域内に限って作成できる。
- ・区域計画は、森林所有者又は森林の経営の委託を受けた者が、単独又は共同により作成できる。
- ・区域計画の認定請求者は、区域内で自ら経営を行う森林(所有森林又は森林経営を受託した森林)について、その全てを計画の対象としなければならない。
- ・区域計画は、複数の区域にまたがって作成することはできない。
- ・区域内では、複数の認定請求者が各々計画を作成できる。
- ・林班計画は、認定請求者が自主的変更により、区域計画に移行することができる。

なお、森林経営計画に係る伐採等の届出等についてはこれまでと変わらず届出の必要はありません。詳しくは、森林経営計画の認定を受けようとする森林が所在する市町村役場または県林政課、環境森林事務所、森林事務所にお問い合わせください。

用及び撤去費用について補助を行います。また、群馬県HPにおいて、各種融資制度・補助事業等の相談窓口を御案内しています。「大雪による林業・林産・きのこ関係被害



きのこ栽培ハウス倒壊の様子

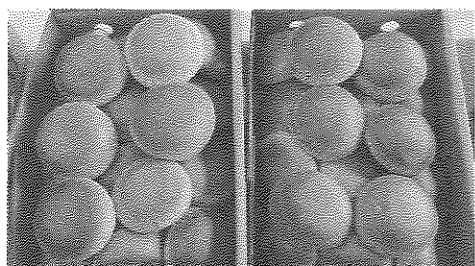
相談について」(URL: <http://www.pref.gunma.jp/06/e3000143.html>) (三月五日掲載)

### 第十七回群馬県きのこ品評会の開催

群馬県産きのこの品評会が一月二十一日〜二十二日に開催されました。これまで、栽培技術や品質の一層の向上、きのこ産業の振興、きのこの消費拡大・PRを目的に、毎年、品

評会を開催してきました。本年度は225点の出品があり、「しいたけ」をはじめ、「まいたけ」「なめこ」など、県産きのこの自信作が、会場にずらりと並びました。これらは審査員9名により、形状、色、揃い等を見て審査されました。また、展示・即売にはたくさんの方の皆様に足を運びいただきました。各部門の最高賞は次の方々です。(敬称略)

部門	賞区分	受賞者
生しいたけ	知事賞	宮下 健次
	農林水産大臣賞	(みなかみ町)
なめこ	知事賞	高山 康雄
	林野長官賞	(沼田市)
まいたけ	知事賞	(株)キノコ・輪大
	林野長官賞	(高崎市)
えのきたけ	知事賞	篠原 和男
	林野長官賞	(嬬恋村)



県知事賞「生しいたけ」



表彰式の様子

# 平成26年度 春の緑化関連行事予定

市町村名	実施日	行事の名称(☆は苗木配布会を予定)	実施場所
前橋市	4月 5日~20日	赤城南面千本桜まつり	赤城南面千本桜
	4月13日	☆さくらまつり	大胡ぐりーんふらわー牧場
	4月29日	敷島公園まつり	敷島公園
	4月29日	☆「緑の募金」推進中央キャンペーン	敷島公園(敷島公園まつり会場内)
	5月 3日	☆「みどりの日」記念 苗木配布会	前橋市中央商店街(中央広場)
	5月 3日~5日	敷島浄水場開放(ツツジ開花イベント)	敷島浄水場
	5月 3・4日	☆須賀の園藤まつり	須賀の園
	5月 4日	☆苗木配布会(赤城神社参道松並木と千本桜の森ウォーキング)	みやぎ千本桜の森
	5月18日	☆苗木配布会(粕川町つつじが峰トレッキング)	おおさる山乃家
	5月中旬	☆苗木配布会(参道松並木グリーン作戦)	赤城神社参道松並木
5月中旬	ばら園まつり	敷島公園ばら園	
5月24~25日	敷島オープンガーデンフェスティバル(個人の庭解放)	敷島公園周辺	
5月25日	緑と花の講習会	前橋公園管理棟	
伊勢崎市	5月 3・4日	☆グリーンフェスタ2014	華蔵寺公園
渋川市	4月19日	親子森であそぼう森で学ぼう教室	憩の森森林学習センター
	4月26日	森林観察会	憩の森森林学習センター
	4月29日	☆苗木配布会(小野上温泉まつり)	小野上温泉センター
	5月 1日	☆苗木配布会(子持山開き)	子持山若人の道駐車場
	5月10日	森林観察会	憩の森森林学習センター
	5月18日	☆苗木配布会(渋川駅前通り歩行者天国)	渋川駅前通り歩行者天国会場
5月25日	☆苗木配布会(新緑とヤマツツジハイキング)	県立伊香保森林公園 駐車場	
高崎市	4月12・19・26日	☆みさと芝桜まつり	みさと芝桜公園
	4月27日	☆花水木まつり	新町文化ホール 駐車場
	4月29日	☆スプリングフェスティバル	群馬音楽センター前広場
	5月24・25日	誕生記念樹木贈呈	高崎市役所南側ピロティ
安中市	5月10日	☆安中市緑化用苗木配布会	安中市文化センター
藤岡市	4月29日	☆苗木配布会	ららん藤岡
神流町	5月 5日	☆苗木配布会(鯉のぼりフェスティバル)	鯉のぼりフェスティバル会場内
上野村	5月 4日	☆苗木配布会(十石市)	ヴィラせせらぎ付近会場内
富岡市	4月26日	☆春の苗木配布会	道の駅「みょうぎ」
	5月 2日	☆春の苗木配布会	富岡製糸場内
下仁田町	5月 3日	☆妙義山下仁田さくら祭り	さくらの里駐車場等
南牧村	5月 5日	☆山菜まつり	道の駅「オアシスなんもく」
甘楽町	4月13日	☆城下町小幡さくら祭り	甘楽総合公園武者広場
中之条町	4月16日	☆苗木配布会(中之条町「安市」)	「つむじ」付近
	5月25日	☆中之条町フェスティバル	ハイテック文化ホール
長野原町	5月15日	☆苗木配布会(与喜屋養蚕神社春まつり)	与喜屋養蚕神社
嬭恋村	4月29日	☆苗木配布会(嬭恋村「安市」)	三原商店街
東吾妻町	4月20日	☆苗木配布会(原町「安市」)	原町「安市」会場(八坂神社前)
	5月24日	第68回群馬県植樹祭	あがつまふれあい公園
沼田市	3月30日~4月26日	沼田公園桜まつり	沼田公園
	4月20日	☆苗木配布会	沼田公園グラウンド
川場村	5月 3日	☆グリーンフェスティバル川場2014(仮称)	道の駅「川場田園プラザ」
昭和村	4月12日	結婚記念植樹	結婚の森
	4月29日	☆「昭和の日」記念イベント苗木配布会	道の駅「あぐりーむ昭和」
桐生市	4月5日~20日	チューリップまつり	桐生市吾妻公園
	4月12日	☆苗木配布会	桐生市吾妻公園
	4月17・18日	☆第76回市民植木市	桐生市役所駐車場
	4月27日	☆さくら草まつり	桐生市新里町農産物等直売所
太田市	5月11・12・13日	☆誕生記念樹交付	太田市北部運動公園・市役所本庁舎
	5月11日	☆太田市緑花祭	太田市北部運動公園
館林市	4月26・27日	☆誕生・新築記念樹交付	館林市グリーンパーク
	5月 3日~6日	花と緑のフェスティバル2014	館林市役所東広場周辺
	5月25日	第2回堀工アカマツ植樹祭	堀工保安林
みどり市	4月27日	☆苗木配布会(浅原体験村創業祭)	浅原体験村
	5月10日	☆苗木配布会(春野菜共信会)	JIAにたみどり笠懸野菜集出荷所
邑楽町	4月19日	☆苗木配布会	邑楽町シンボルタワー駐車場
	4月20日	緑化講座「そこが知りたい夏野菜の作り方」	県緑化センター
	5月 4日	☆県緑化センター「みどりの集い」	県緑化センター
	5月11日	緑化講座「覚えておきたい庭木の整枝剪定とマツのミドリ摘み」	県緑化センター

※平成26年3月1日時点の予定ですので、変更となる場合があります。

# 緑化推進だより

## 春の緑化行事

県では、緑豊かで住みよい郷土づくりを推進するため、四月一日から五月三十一日までを緑化運動推進期間とし、平成二十六年度は「感じよう 緑のやさしさ 大切さ」をテーマに、市町村や公益社団法人群馬県緑化推進委員会と連携して緑化運動を展開します。緑化運動推進期間中は、県内各地で緑化苗木の配布会や植樹祭など各種緑化行事を開催します。お近くで開催される緑化行事へこの機会に是非ご参加ください。



緑化苗木の配布会

## 「緑の募金」にご協力ください

緑化運動推進期間中は、県内各地で「緑の募金」活動を実施します。森林や緑は、きれいな空気や美味しい水、やすらぎの場など、様々な恩恵を私達にもたらしてくれれます。かけがえのない郷土の緑、地球の緑を守るため、「緑の募金」にご協力をお願いします。

皆さまからの募金は、学校・公共施設等の緑化や緑の少年団の育成、森林ボランティア活動支援など郷土緑化の推進に活用されるほか、国土緑化推進機構を通じ、東日本大震災被災地域の防災林整備や国際緑化事業にも協力し、災害や地球温暖化の防止、循環型社会づくりに広く役立てられます。



緑の少年団による募金活動

## 群馬県植樹祭のご案内

「群馬県植樹祭」は、記念植樹や育樹などを通じて、緑づくりや森林を守り・育み・活かすことの大切さを発信する、緑化運動推進期間の中心的な行事として、県・開催市町村・林業関係団体などの共催で毎年開催しています。参加費は無料ですので、植樹作業のできる服装で会場へ直接ご来場ください。

◎第六十八回群馬県植樹祭  
日時 五月二十四日(土) 午前九時半  
会場 あがつまふれあい公園

(東吾妻町大字三島)

※会場周辺は混雑が予想されますので、時間に余裕を持ってお越しください

◎問い合わせ先

県庁緑化推進課 〇二七―二二六―三二七二



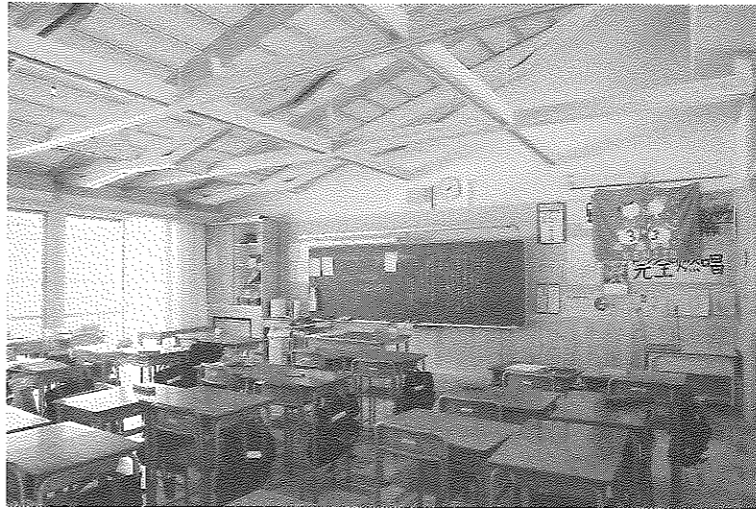
# 各地の便り

## 「校舎がいいね」「生徒もいいね」

沼田市立沼田中学校・木造新校舎

沼田市は老朽化したRC造りの沼田中学校旧校舎を「木材の街・沼田にふさわしい校舎」として木造校舎に建て替えた。

この新校舎は、利根沼田地域のカラマツやスギを多く活用し、縦横斜めに組まれた張弦梁構造の「表し天井」と「高窓」から差す柔らかな自然光が開放感を生み、スギ腰壁と格



平均高さ4.1mの「表し天井」の教室



木製サッシが並ぶ中庭が見渡せる廊下

子状の木製照明カバーによる適度な包まれ感が新鮮であり、学舎として心地よい。

昨年一般教室や職員室の引越しを終え既に授業が行われており、現在は2期工事として図書室や音楽室、地域と学校の拠点となる学校支援室等の建設が急ピッチですすんでいる。

宮内伸明校長先生の案内で新しい校舎を見学した。随所に落ち着きと特色が感じられ、木造の調湿機能や断熱性能が冷え込んだ朝に温もりをくれるという。この冬のインフルエンザは穏やかだったとの感想があった。視察や取材も多い。生徒会長の内藤篤志君

## 列状間伐講習会を開催

平成二十五年十一月二十七日、下仁田町大字中小坂地内で、約十二haを三残一伐の列状間伐を行った林内において富岡森林事務所と下仁田町森林組合との共催による間伐講習会を開催しました。

素材生産量を倍増とする県森林・林業基本計画に基づき、これを具現化させる取組みの一環として開催したもので、甘楽富岡地域の市町村職員、森林組合役員、素材生産業者等四十四名が参加して行いました。

講習会では富岡森林事務所職員が列状間伐による収入間伐について、実施方法と特徴、その条件等を説明し、さらに事業別の間伐補助金制度の説明を行いました。

また、小井土組合長及び小井土指導課長から列状間伐を行った施業地の概要と経緯、生産した素材の流通、収支計画



等を説明し、通常の定性間伐と比べ大幅なコストダウンが図られ、森林所有者への収益の還元が行えると強調しました。

さらに、林業振興課綿貫補佐から高性能林業機械を使用して列状間伐を行う場合の留意点や列状間伐の実施方法、労働安全衛生の確保について説明がありました。

その後、伐倒してある材をスイングヤーダで集材し、プロセッサ造材、フォワーダへの積み込みの一連作業の実演と機械の作業能力等の説明を行いました。

最後に、列状間伐を行った林分を参加者に見て頂き、意見交換を行いました。参加者から「このような良い条件であれば列状間伐も機械で行える」などの意見があり、森林事務所からは、皆伐できるような状態となっている林分で列状間伐を行えば、補助金も受けられ有利であり勧めたいと応えていました。



(富岡森林事務所通信員)

(2年)は「校舎がいいね」と言って貰えるのはうれしい。「生徒がいいね」とも言われる学校を目指していきたい」と新聞社の取材に答えていた。



木に囲まれた校舎で学び、誇りを持って巣立ってほしい

- ▽市立沼田中学新校舎の総工費 一二億円
- ▽延べ床面積 四二五九㎡
- ▽創立一九四七年 ▽現生徒数 三八七人
- ▽教育目標 「美しい心」「高い知性」「強い身体」を磨く生徒
- ▽所在地 沼田市東原新町一八〇の一

(利根沼田環境森林事務所通信員)

## 第十四回群馬県きのこ料理コンクール

主催・群馬県・実施委託・県特用林産振興会  
県きのこ料理コンクールが開催されました。毎年高校生を中心に応募いただいていたが、今年も若い世代の新鮮なアイデア作品が全336点集まりました。そして、おいしさや獨創性、調理の手軽さについて審査されました。

最優秀賞には芝崎梨乃さん(利根実業高校)の「ホットケーキミックスでチロリス風キノコドーナツ」が選ばれ、群馬県知事賞が授与されました。このほか竹内千夏さん(玉村高校)の「もっちりしいたげ揚げ」、町田愛璃さん(万場高校)の「きのこたっぷりひき肉巻きおにぎりのあんかけ」が優秀賞に選ばれました。

なお、芝崎さんは三月四日に行われた全国大会に参加し、3位となる優秀賞を受賞されました。



群馬県知事賞

(林業振興課通信員)

# 各地の便り

## 「ぐんま緑の県民税」の事業説明会開催について

平成二十六年年度から「ぐんま緑の県民税」の事業がスタートします。本事業は、水源地域等の森林整備事業、ボランティア活動・森林環境教育の推進、市町村提案型事業のメニューがあります。

当事務所においては、事業の円滑な実施を図るため、平成二十六年二月二十五日、管内市町村及び森林組合の関係者を対象に水源地域等の森林整備事業の説明会を実施しました。

説明会では、林政課で作成した図面と、当事務所で準備した間伐履歴を掲載した図面を使用しました。この間伐履歴図は、森林基本図に十五年分の間伐実施箇所を掲載しており、「ぐんま緑の県民税」の事業で活用するほか、森林整備事業の管理ができるように工夫してあります。間伐後、五年目までは、一年毎に色を分け、六年目から十五年目までを一色単で塗っており、五年目以降の箇所が一目で分かるので、間伐事業実施の目安になります。

森林組合の担当者からは、分かり易く、便利であるとの好評価を頂きました。

水源地域等の森林整備事業には、条件不利地森林整備事業、水源林機能増進事業、松くい虫被害地の再生事業があります。市町村、

た計画図を広げ、所有者、過去の施業履歴、森林の状況の確認や、施業箇所とその内容、作業道の予定線形等を確認しながら、意見交換を行いました。

出席した所有者からは、施業の時期や内容、作業道の位置についての質問が出たほか、承諾書等の提出時期などの細かな事務手続きについての質問が多く、計画策定に前向きな姿勢がうかがえました。

その後現在までに、森林経営計画に必要な全員の承諾も得られ、計画推進は大きく前進しています。

また、国有林との民国連携協定についても、三月中に調印の予定まで進んでいますので、次回のこの欄でご報告できるかと思えます。



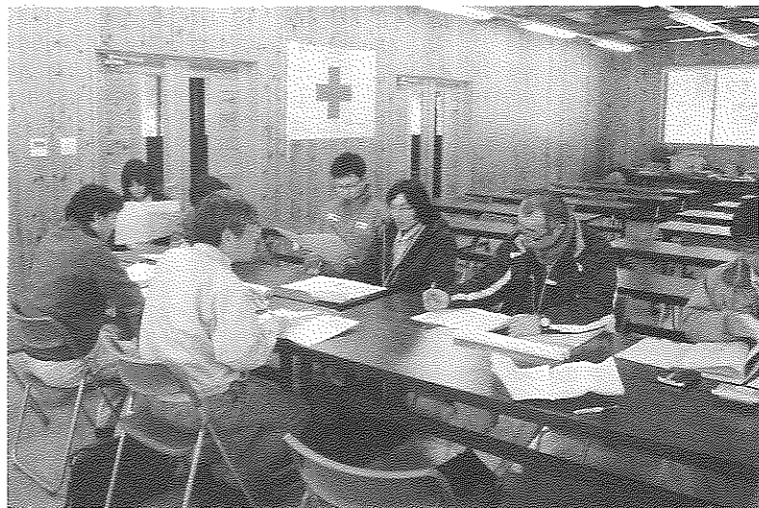
所有者との検討の様子

(吾妻環境森林事務所通信員)

森林組合の担当者には、事業採択要件を満たした森林の情報提供をお願いしました。

また、今回の説明会を通じて森林・林業関係者から、「ぐんま緑の県民税」事業で森林整備が進み、木材産業の活性化にもつながると期待しており、事業実施に積極的に協力していきたいとの声があがっていました。

(藤岡森林事務所通信員)

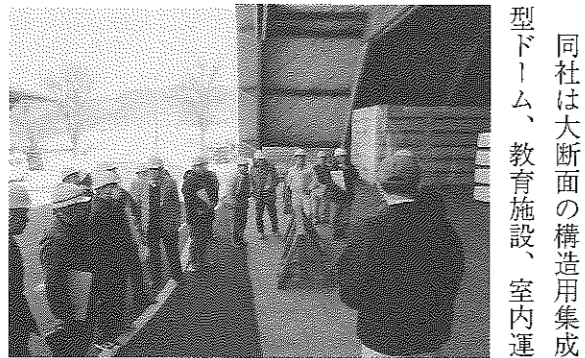


事業の説明を実施

## 東毛地区木材組合連絡協議会 平成二十五年年度視察研修

東毛地区木材組合連絡協議会は、東毛地区にある桐生木材組合、太田木材組合、館林木材協会、大間々木材組合、伊勢崎木材組合、赤城木材組合の六つの木材組合で構成される協議会です。各組合の連絡協議を図り、東毛地区の木材産業の振興と、組合員の福利増進に寄与することを目的として活動しております。

平成二十六年三月四日に同協議会の視察研修が二十名の参加者で実施され、長野県小県郡長和町で構造材用集成材を製造している「齋藤木材工業(株)」を訪れました。



同社は大断面の構造用集成材を製造し、大型ドーム、教育施設、室内運動施設、ホールなどの設計から施工まで一貫して手がけており、同社の施工物件は群馬県内でも下仁田小学校をはじめ十七件の実績があります。

工場見学で

## 森林経営計画推進に 地区座談会の開催

中之条町では、町内の森林経営計画の策定を円滑に行うため、計画予定地域の森林所有者への地区座談会を行う事となりました。



座談会の様子

今回はその第一回として、中之条町四万の駒岩地区で座談会を開き、地区の方々二十二名が出席しました。

座談会に

は、主催者の中の条町の担当のほか、吾妻環境森林事務所、吾妻森林組合、吾妻森林管理署が出席しました。

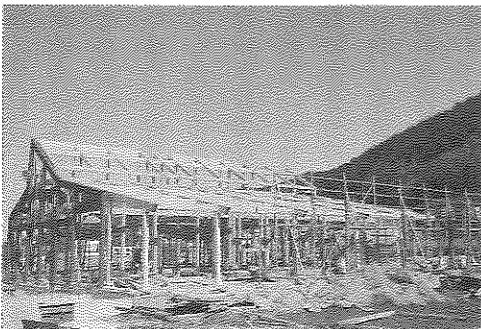
吾妻環境森林事務所からは、森林経営計画の概要と策定の流れについて説明があり、吾妻森林組合からは、森林整備の目的と、作業道線形の具体的な内容について説明が行われました。

吾妻森林管理署からは、民有林と国有林の連携について、位置関係や連携の事業内容等の説明がありました。

各機関からの説明の後、森林組合が作成し



は、ひき板材(ラミナ)の強度を全数測定して強度区分を行い、強いものを最外部に、弱いものを中心に配置していることや、長尺ものの接着工程、現在開発中の耐火集成材のことについて説明がありました。参加者は皆熱心に聞き入り、耐久性や品質などの質問が多く出されました。



工場見学の後には、同町で建設中の統合保育園の現場見学を行いました。

今回は、集成材の先進的な取り組みに触れることができ、大変有意義な視察研修となりました。また、木材組合の交流、そして、個人の木材・製材業の参考になったと思います。

(桐生森林事務所通信員)

### ニホンジカのリアルタイムGPS首輪について

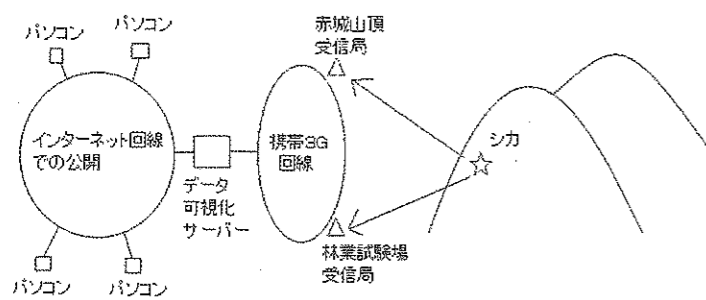


図1 GPS首輪による位置把握システム図

シカの行動を知ることは、被害対策や農林業の防除対策において重要な取り組みです。その行動を知るためには、専門家による調査と、その報告を見て対策をするのが従来の方法でした。今回、林業試験場と株式会社設計研究所で共同研究により開発した世界初のリアルタイムGPS首輪は、「シカがいる場所が直ぐにパソコン上で分かり、みんなで共有できる」画期的なシステムです。関係者に情報を見てもらうことで、直ぐに捕獲対策や防除対策にとりかかれる最新鋭の対策方法です。(図1)。従来、動物の動きを知るためには、電波発信機(ビーコン型)を首に装着し、専門家によるフィールド調査が必要でした。その情報は、地図などにまとめた上で、関係者に提供され初めて情報が共有され、対策方法などが検討されました。

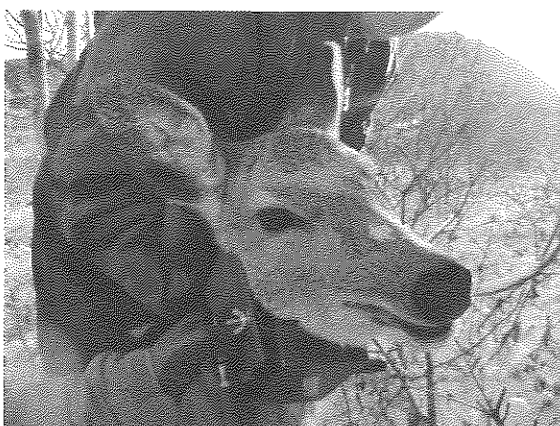


図2 シカに装着したGPS首輪

今回のシステムでは、首輪から発信された位置情報が電波法に適合した周波数(ARIB STD-T99規格)により受信局まで送られ、そこで解析されたデータをデータサーバーに送り込み、地図化され、ネット上で閲覧できるようにになります。このシステムを構築するためには、幾つかのキーテクノロジーがあります。①スペクトラム拡散通信を用いた省電力遠距離通信による位置情報の送信、②動物の行動を阻害せず五センチのアンテナを確実に装着する首輪、③データを受信するための安定的な受信局の運用、④得られたデータの可視化などが必要となる技術となります。野

シカの行動がパソコン上で分かるのは、野

考え、常に新しい商品の開発にも取り組んでいます。チチタケやホウキタケのほか外国産のポルチーニ茸やトリュフの栽培にも挑戦しているところですが、ここまでの種菌会社での経験が役立っているということです。研究室の中には、小林さんが採取した様々な菌糸が納められており、正に夢が詰まった瓶でした。また、今年50坪の太陽光発電施設を設置しました。これにより、昼間の使用電力をまかない生産の低コスト化にも挑戦しています。現在、小林さんの最大の悩みは、二月の大雪により七棟のハウスが被災したことです。しかし元氣者の小林さん。「やるっきゃない」とハウスの復旧、きのこづくりに励んでおります。それでは、やまこきの園のアドレスを載せますので、是非ご覧ください。  
<http://www.8ocorn.jp/~yamako/>

(林業試験場 企画・自然環境係)

### 浅間の麓できのこ生産

長野原町応桑 小林 秀幸さん

今回は浅間山の麓、長野原町応桑できのこ生産を行っている、「やまこきの園」代表の小林秀幸さんをご紹介します。小林さんは、現在この地で、皆さん馴染みのまいたけ、しいたけ、ひらたけ等のほか、たもぎたけ、やなぎまつたけ、バイリングなど十種類程のきのこを年間約五十ト程生産しています。

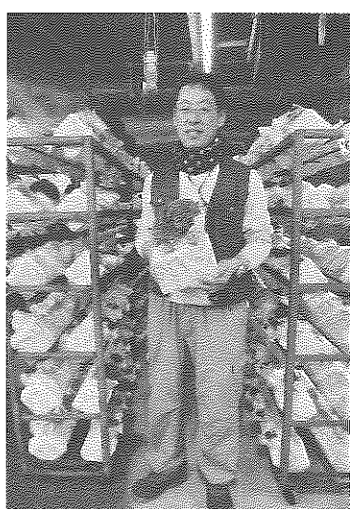
小林さんの家は、長野原町林地区にあり、ご家族はお父さんと奥さん、そして二人のお子さんです。お父さんは、以前からまいたけ生産を行っていました。

その様なことから、小林さんは農林大学校を卒業後、県内の種菌会社に勤め、その間筑



いろいろなきのこを生産

波で一年間きのこの種菌の研修も受けました。三年程勤めた後、家のまいたけ生産を手伝うため種菌会社を退職、家に戻りお父さんと共に



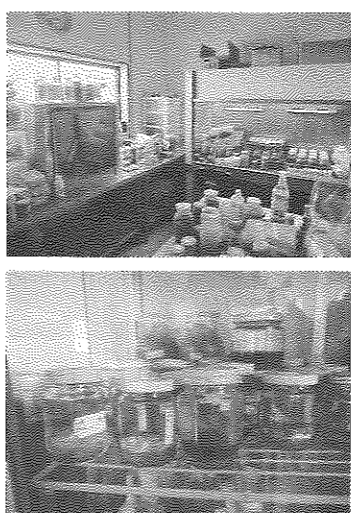
まいたけを手に小林さん

まいたけ生産を行っていました。現在のやまこきの園の「やまこ」は、小林さんの家の屋号である「(小) (やまに小林のこ)」を用いています。

さて、その後転機が訪れました。それは、一〇年前になりますが、八ッ場ダム建設にともない、生産施設を現在の応桑に移したことです。それまではまいたけ一本に生産を行ってききましたが、移転を機に施設を拡大し、扱える種類も十種類程と大幅に増やしています。菌床の仕込みも、月に一万から一万三千床になります。

きのこの出荷先としては、業務用が大半を占めています。場所柄、北には名湯草津温泉、南には有名な観光地軽井沢を控えている地の利を生かし、旅館、飲食店等へ納めています。ほかにも、JAや最近出来た八ッ場ふるさと館へも出荷を始めました。

しかし、小林さんとしては販路を拡大、確保するためには新しいきのこの生産も必要と



研究室と夢を詰めた瓶

(吾妻環境森林事務所通信員)

生動物に関わる関係者にとって夢の技術でした。

リアルタイムで位置が分かることで具体的に何がかわるのかを考えて見ます。

①シカの行動がどんなきつかけによって引き起こされるのか検証できます。例えば越冬地に移動するタイミングと降雪の関係はどうなのか。②移動ルートが直ぐに確認できることで、捕獲地の選定ができます。③生息コアを発見することで、集中的な捕獲対策ができます。また、防除対策も行えます。④防除対策や追い払い対策を行った効果を検証できます。このシステムの良いところは、シカの生態研究のツールとしても優れています。得られる位置精度が高いことから、いろいろな対策の効果を直ぐに検証できるところが最も優れていると言えます。

パソコン上で共有して閲覧できることから、対策を行う上でモチベーションを高めながら、有効な対策を実施することが可能となる最強のツールです。

このシステムは各種の動物に活用可能ですが、それぞれの動物に適合した首輪の設計(重量、構造、強度、アンテナ設計)、実装試験、フィールド実証試験、送信インターバル設定研究、受信局の設置位置計算など、多岐にわたる研究分野内容が残されています。

# 地域を担う人

利根沼田森林組合  
外山 文耶



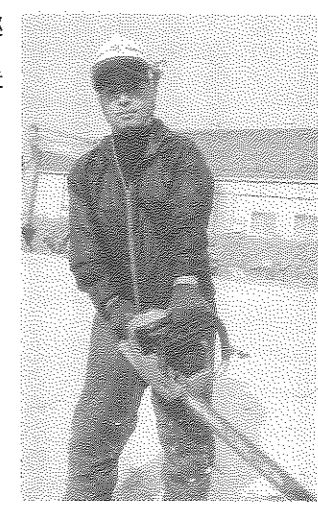
一 趣味  
野球・バスケット・スノーボード

二 今後の抱負  
まだ技術・経験ともに未熟で、日々の仕事でヒヤリ&ハツとする危険な場面もありますが、これからも一つ一つの作業の安全性や効率などを考え、先輩や後輩とのコミュニケーションを大事にして、安全第一でより良い森林を育てて行けたらと思っています。

な作業を徹底して、効率の良い作業もしていきたい。

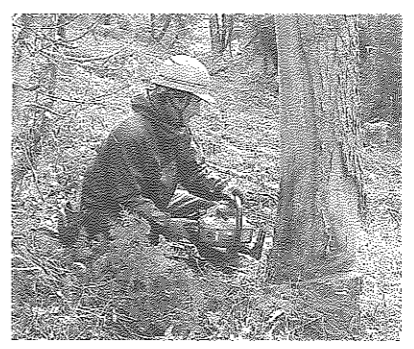


合の仲間とともに笑顔の絶えない職場になるようにしていきたいと思っています。



小菅 豊

利根町森林組合  
小林 谷一



一 趣味  
ドライブ バイク

二 今後の抱負  
安全を第一に、怪我や事故が起きないように努力を惜しまず作業を進めるように心掛けていきたい。また、これからも組

一 趣味  
釣り

二 今後の抱負  
FW研修で勉強したことをこれからの仕事にも生かし、林業界のプロとしての自覚を持って事故や怪我をしないようにしたい。周りの全員が無事故・無災害で働いて行けるよう努力する。

角石林業株式会社  
大淵 高章

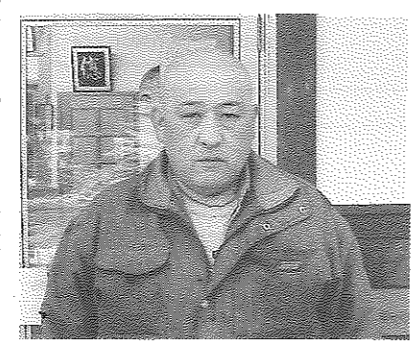
一 趣味  
ドライブ、遊玉

二 今後の抱負  
研修を受けたことで新しい技術が身につ

利根沼田森林組合  
萩原 潤

一 趣味  
映画鑑賞

二 今後の抱負  
無病息災。  
造材の腕(技術)を磨いて頑張る。安全

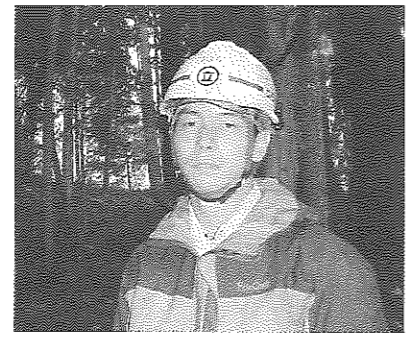


き仕事の幅が増えた。また、効率のいい作業を考えるようになった。さらに技術を磨いて後輩にも指導できるようにになりたい。人と森林が共生しながら持続できる林業に期待したい。

研修を受けて自信を持って作業に携わることができた。林業現場は単純作業に見えるが、危険も高く無駄なところもある。子供の頃からみると近年、森林が野生動物や異常気象によって枯れているように感じる。元気な緑の森林にしてほしい。今は主に木材輸送に従事しているのだが、確かな目標を掲げて日々努力していきたい。

立石木材株式会社  
小淵 絢也

現場では伐木から積み込みまで様々な仕事をこなす。林業はきつい仕事だが、振り返って山がきれいに片付いたのを見ると、すがすがしい気分になる。



一 趣味  
釣り、ドライブ

二 今後の抱負

林業の仕事を一一般の人々によく知ってもらおうと共に、木材の良さを知ってもらえるよう、地域や身の回りの人達に伝えて行きたいと思っています。  
現場作業では、間伐、特殊伐採の技術や高性能林業機械の取扱い技術向上のため、日々努力し学んでいきたい。

角石林業株式会社  
角田 和彦



一 趣味  
音楽鑑賞、映画鑑賞、ドライブ

二 今後の抱負

一 趣味  
楽しいお酒と歌、競輪

二 今後の抱負

50才になって山仕事を始めた。FW研修を受けたことにより、林業士の全体を知ることができた。さらに、研修を通じて仲間づくりや研修生同士の親睦を図ることができたのが大きな収穫である。